

石綿健康相談 その2 (2006年8月)

～岡山県玉野市で開設した

第1・2回「石綿臨時健康相談」の活動内容統括～

前回、シリーズその1では『岡山県玉野市で開設した第1回「石綿臨時健康相談」への参画』と題して、昨年11月25日、当センターホームページ「所長の部屋」に掲載しました。その折、『第2回「石綿臨時健康相談」の実績・結果・分析等を掲載する』とお約束いたしましたが、第2回目「石綿臨時健康相談」は総相談人数20名、その内、当センター相談員が担当した対象者は11名でした。そこで今回は、「第1・2回を合わせた実績・結果・分析の掲載」に内容を変更させていただきます。

尚、本内容は平成18年度産業保健推進センター所長会議（H18.5.18）に於いて「事例発表」として報告しております。

又、巻末に当センターにおける相談（窓口相談）の集計を付記しております。

岡山産業保健推進センター所長 石川 紘 （2006.8.3）

岡山県玉野市での健康相談窓口開設の動機

- ・三井造船(株)玉野事業所で石綿による肺がん・中皮腫により元従業員ら12名が既に死亡
- ・平成17年8月10日付，厚生労働省労働基準局長より岡山労働局長宛に健康相談窓口を開設するよう通知あり。
- ・早速8月16日付，岡山労働局より8月28日に第1回の石綿臨時健康相談の開設連絡があり、
同時にセンター宛に相談員他の派遣要請があった。
- ・同じく9月26日付で第2回「石綿臨時健康相談会」を10月28日に開催する旨の連絡があった。

石綿健康相談窓口の開設に係る厚生労働省からの通達

都道府県労働局長 殿

厚生労働省労働基準局長
(公印省略)

石綿に係る健康相談等の実施について

石綿による健康障害の発生が社会的に大きな問題になり、石綿を取り扱っていた労働者以外の住民や家族にも生じているとの報道もあって、石綿製品の製造等を行っていた事業場の周辺住民において肺がんや中皮腫に罹患するのではないかとの不安が広がっているところである。

このような状況に対応し、既に独立行政法人労働者健康福祉機構において、都道府県産業保健推進センター(以下「推進センター」という。)や労災病院に労働者、離職者、家族等を対象とした健康相談窓口を開設し、健康等に関する相談に応じてきているところであるが、今後、下記のとおり、石綿による健康障害を発生させている事業場の離職者を含む労働者や周辺住民の健康不安解消のため、推進センターの協力の下に、石綿についての知識を有する医師、専門家等による臨時の健康相談窓口を開設することとしたので、その円滑な実施に努められたい。

記

1 健康相談窓口を開設する労働局

管内に、石綿による中皮腫又は肺がんの労災認定件数が10件(平成11～16年度)以上の事業場等又は周辺住民に石綿による健康被害が生じているとの報道があった事業場がある次の労働局とする。

神奈川労働局、岐阜労働局、大阪労働局、兵庫労働局、奈良労働局、岡山労働局、佐賀労働局

2 健康相談の実施方法等

(1)石綿による健康被害を発生させている事業場の近隣の公民館等において、当面、月1回相談窓口を開設し、健康相談を実施する。また、健康相談に併せて、専門家による講演を実施する。

(2)相談の実施担当者は、推進センター、労災病院等の医師、保健師、都道府県労働局職員等とする。

3 その他

石綿による中皮腫又は肺がんの労災認定があった事業場を有する都道府県労働局においては、当面、月1～2回、推進センターにおいて、石綿による健康影響等についての集中相談日を設けて、健康相談を実施する。

活動内容(調査票集計)

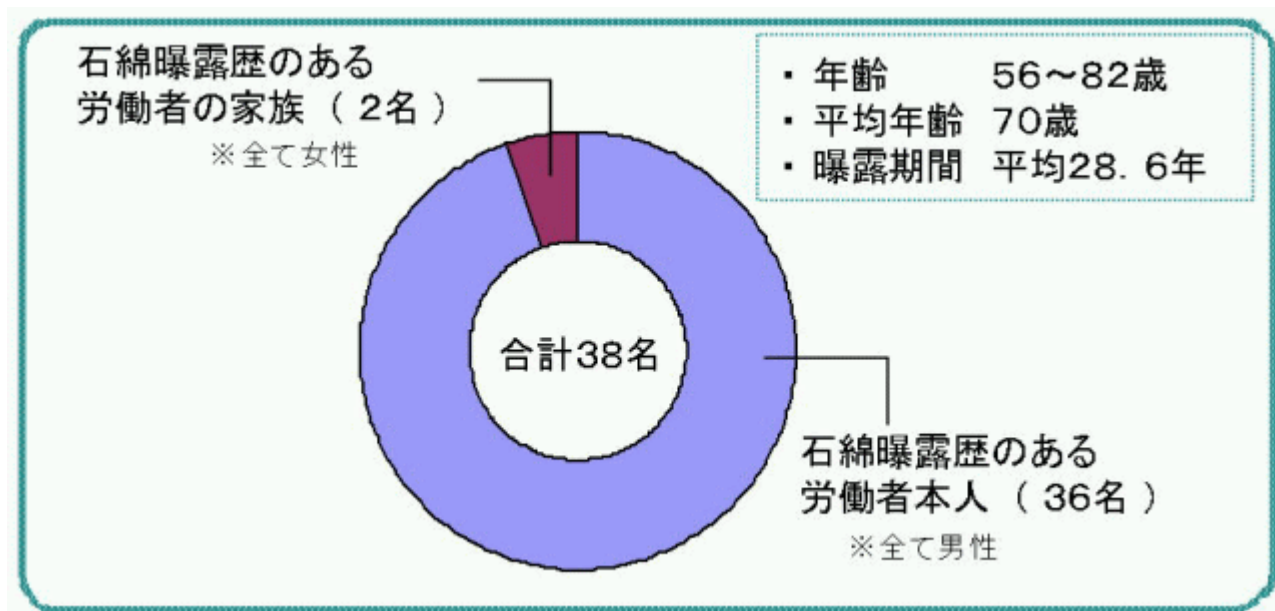
(1) 健康相談者ほか対象数 (全体)

- ・講演聴講者数 (付添い者等含む) - 第1回約140名
- ・健康相談者数 (付添い者等除く) - 第1回70名、第2回20名、合計90名
- ・相談件数 (延べ件数) - 第1回85件、第2回26件、合計111件
- ・推進センター相談員による担当数 - 第1回27名、第2回11名、合計38名

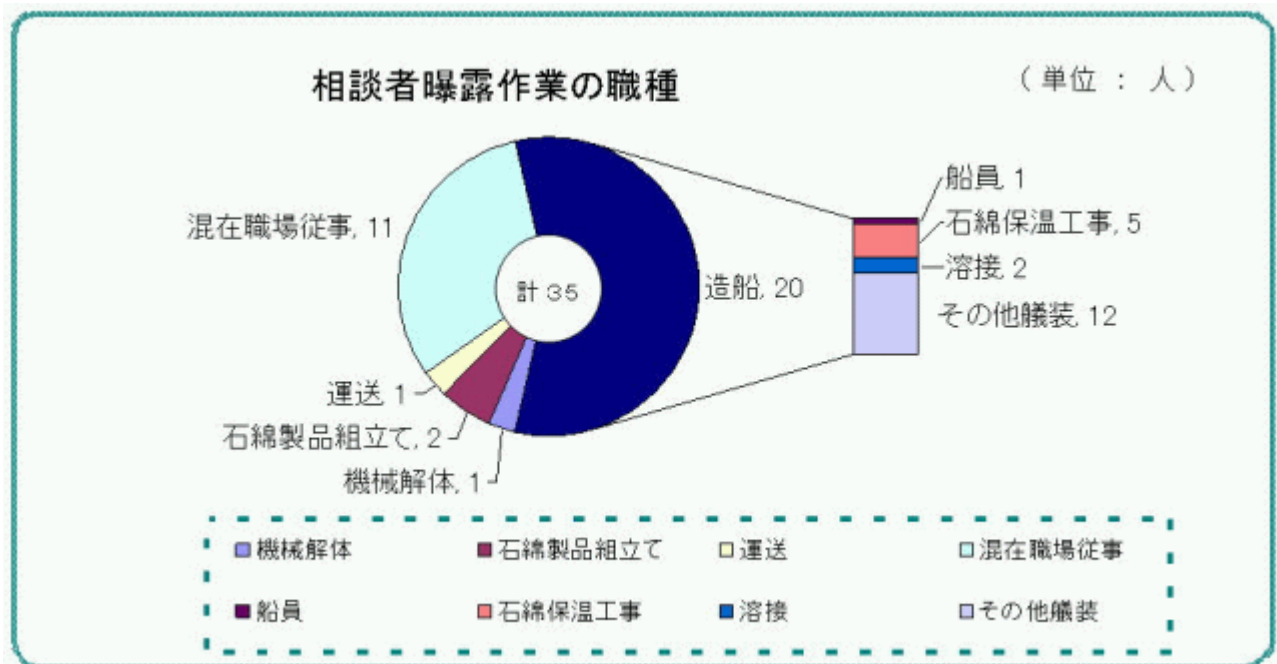
(2) 健康相談者全体の属性及び相談内容

| 項目 | 相談者 | 性別 | 住所 | 年齢 | 関係職種 | 喫煙歴 | 退職者 健診 | 相談内容 |
|-----|-----------|-------|----------|----------|-----------|-----------------------|-----------------------|-----------------------------------|
| 相談数 | 労働者本人 101 | 男 101 | 玉野市 86 | 40代 3 | 艀装工 33 | 有 61 無 39 不明 11 | 有 27 無 34 不明 50 | 健康関係 81 安全衛生関係 16 労災補償関係 23 |
| | 労働者の家族 9 | 女 9 | 玉野市以外 22 | 50代 2 | 溶接工 16 | | | |
| | 周辺住民 1 | 不明 1 | 不明 3 | 60代 4 | 配管工 15 | | | |
| | | | | 70歳以上 51 | 塗装工 3 | | | |
| | | | 不明 6 | 電気工 8 | | | | |
| | | | | 不明 6 | その他・不明 36 | | | |

(3) 相談者区分 (推進センター相談員担当分)



(4) 相談者職種 (推進センター相談員担当分)



(5) 相談内容※ ()内は喫煙歴があるもの

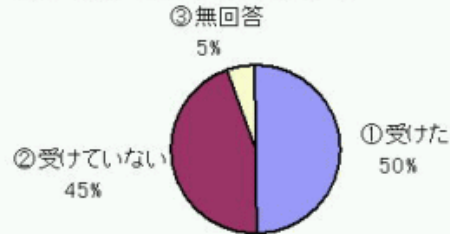
1. 既に何らかの診断を受けているものー 14 (9)
 - <1>中皮腫 1
 - <2>石綿肺 (胸膜プラーグ確認) . . . 13 (10)
 - <3>じん肺 4 (2)
 - <4>肺気腫 1 (1)
2. 曝露歴あり、咳・痰・息苦しさ等の症状を主訴としたもの 10 (5)
3. 曝露歴あり、症状はないが不安で訪れたもの 9 (4)

(6) 相談者への回答内容

1. 石綿肺等健診が必要 (健診機関には全て岡山労災対象) . . . 20
2. 心配あれば健診を受けるように (健診を要する自覚リストを配布) . . . 5
3. 健康状態に不安あれば健診を受けるように . . . 1
4. 現在受診中の医療機関で診療・検診を続ける . . . 10
5. 現在受診の医療機関から岡山労災病院に改めて紹介してもらう . . . 2

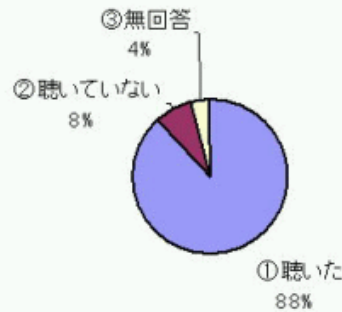
石綿健康相談アンケート（※アンケート回答者93人に対する割合）

(1) 石綿に係る健康相談について



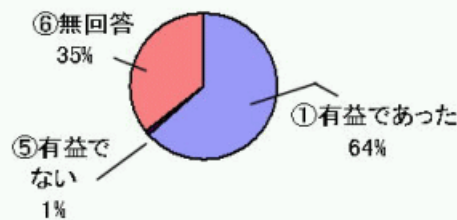
- ①受けた
- ②受けていない
- ③無回答

(2) 石綿による健康影響に係る講演について（※回答者計75名）



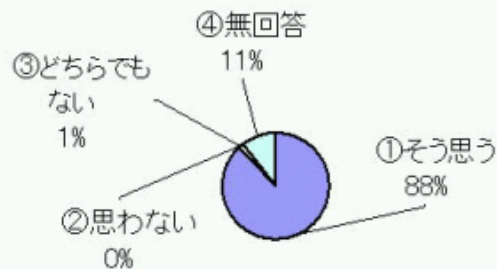
- ①聴いた
- ②聴いていない
- ③無回答

(3) 石綿による健康障害を発生させた事業場周辺における健康相談



- ①有益であった
- ②概ね有益である
- ③どちらともいえない
- ④あまり有益ではない
- ⑤有益でない
- ⑥無回答

(4) 今後、今回のように健康相談や講演の機会を設けた方が良いと思われますか？



- ①そう思う
- ②思わない
- ③どちらでもない
- ④無回答

考察

1) 厚労省通達による2回の石綿臨時健康相談を玉野市で実施した。相談者96名の内、推進センター相談員延べ7名が

曝露歴のある労働者ないし離職者及び家族計38名を担当した。

(2) 対象者は平均70歳と高齢離職者が多く、

曝露期間も平均28.6年と長期で認定を含めた早急な対策の必要を痛感した。

(3) この内、石綿肺の要健診者は20名と過半数で、全てが現時点では労災病院を対象とせざるを得ず、

新たな課題が派生している。

(4) 相談者の内、18名は既に各総合病院で健診・精検を実施済みで、何等かの診断を受けており、又、

現在診療中のものも10名おり、今後の指針等についての指導内容により慎重な対応が求められた。

(5) 一方で曝露歴があり、尚かつ何らかの呼吸器症状を有するのに未だ健診を受けていない相談者も

9名と次いで多く、その他の曝露歴があるものと併せるとほぼ半数近くになり、その結果、健診・精検は

殆どの相談者が受けることを余儀なくされ、いずれはパニック状態を迎えることを危惧している。